

東京都渋谷区温泉施設爆発火災の概要（第8報）

平成 19 年 6 月 29 日(金)10 時 00 分現在
消 防 庁

1 発生日時等

発生時刻：平成 19 年 6 月 19 日（時分調査中）

覚知時刻：平成 19 年 6 月 19 日 14 時 29 分

2 発生場所

住 所：東京都渋谷区松濤一丁目 29 番 7 号

建物名称：株式会社ユニマットビューティーアンドスパ シエスパB棟

用 途：15 項（その他の事業場）

3 建物概要

構造 耐火造 階数 地上 1 階／地下 1 階

建築面積 89.22㎡ 延面積 153.71㎡

消防同意 平成 17 年 1 月 31 日

使用検査 平成 17 年 12 月 20 日

消防用設備等 消火器、誘導灯

4 死傷者等

死 者 3 人（51 歳女性、22 歳女性、23 歳女性）

負傷者 8 人（28 歳男性重症、35 歳女性重症、32 歳女性重症、

搬送辞退 5 人（42 歳女性、45 歳女性、49 歳女性、42 歳男性、
54 歳男性））

5 施設の状況

B1 温泉汲み上げポンプ装置、ガスセパレータ、源泉槽、受水槽

1F 従業員控室、トイレ

6 東京消防庁の活動

ハイパーレスキューを含む消防隊など 57 隊が出動

7 消防庁の対応

- (1) 消防法第 35 条の 3 の 2 の規定に基づき消防庁長官の火災原因調査を発動し、20 日午前から消防庁職員 4 人を現地に派遣するなど調査を実施しているところ。
- (2) 各都道府県知事あてに消防庁次長から「温泉の採取場所等の防火安全対策等に係る実態調査について」（平成 19 年 6 月 22 日付け消防予第 247 号）を通知し、屋内設置の温泉汲上げ設備に関する安全対策の実態等について、全国調査の実施を依頼したところ。

予防課

担当：三浦、村井

TEL：03-5253-7523

FAX：03-5253-7533

参 考 配 布

平成19年6月22日
総務省消防庁

温泉の採取場所等の防火安全対策等に係る実態調査について

去る平成19年6月19日に死者3名を出した東京都渋谷区の温泉施設において発生した爆発火災を踏まえ、平成19年6月22日付け「温泉の採取場所等の防火安全対策に係る実態調査について」を、別添のとおり都道府県に発出しましたので、参考までに配布いたします。

【連絡先】

消防庁予防課

三浦課長補佐、村井企画調整係長

電話 03-5253-7523

FAX 03-5253-7533

消 防 予 第 247 号
平成19年6月22日

各都道府県知事 殿

消 防 庁 次 長

温泉の採取場所等の防火安全対策等に係る実態調査について

去る平成19年6月19日に、東京都渋谷区の温泉施設において発生した爆発火災により3名の死者を出したことは、誠に遺憾であります。

この火災の原因については、現在調査が行われているところですが、温泉の汲上げに付随して放出される可燃性ガスの危険性が指摘されています。

つきましては、今回の火災の重大性に鑑み、各都道府県におかれましては、各消防機関において、別紙調査要領に基づき実態調査を行うとともに、放出される可燃性ガスによる火災の予防について関係者に注意喚起がなされるようお願いいたします。

なお、調査の実施にあたっては、各関係機関においても同様の調査を実施している場合があることから、相互に連絡、調整を図るなど効率的な実施についても配慮されるようお願いいたします。

【連絡先】

消防庁予防課

三浦、村井、鈴木（啓）

電話 03-5253-7523

FAX 03-5253-7533

温泉の採取場所等に係る実態調査要領

1 温泉の採取場所の実態調査

(1) 調査対象

温泉の汲上げ設備を屋内に設置している防火対象物（通常無人の専用汲上げ小屋等を除く。）

(2) 調査内容

別添調査様式1のとおり。

(3) 回答要領

ア 各消防本部（局）にあつては、調査様式1に必要事項を入力の上、都道府県消防防災主管部まで回答すること。この場合において、汲上げに伴う可燃性ガスの放出が生じないことが明らかな対象については、記入を要しないこと。

イ 各都道府県消防防災主管部にあつては、貴管内消防本部（局）から提出のあつた別記調査様式1を取りまとめた上、電子データにより消防庁予防課担当へ回答すること（都道府県の集計ファイル名は「〇〇県」とし、管内消防本部（局）から提出のあつた電子データを1枚のエクセルシート（調査様式1を使用）に加工すること。）。

(4) 留意事項

ア 調査様式には都道府県名又は消防本部名を記入すること。

イ 数値は半角で入力すること。

(5) 回答期限

平成19年7月6日（金）

2 天然の可燃性ガスに起因する火災の実態調査

(1) 調査対象

過去10年間に於いて、地中から発生する天然ガスに起因するものとして把握している火災（爆発を含む。）事例（温泉の採取場所以外で発生した事例を含む。）

(2) 調査内容

別添調査様式2のとおり。

(3) 回答要領

ア 各消防本部（局）にあつては、調査様式2に必要事項を記入の上、都道府県消防防災主管部まで回答すること。

イ 各都道府県消防防災主管部にあつては、貴管内消防本部（局）から提出のあつた別記調査様式2を取りまとめた上、電子データにより消防庁予防課担当へ回答すること（都道府県の集計ファイル名は「〇〇県」とし、管内消防本部（局）から提出のあつた電子データを1枚のエクセルシート（調査様式2を使用）に加工すること。）。

(4) 回答期限

平成19年7月6日（金）

3 回答先

消防庁予防課企画調整係 村井・鈴木（啓）

電話：03-5253-7523

FAX：03-5253-7533

E-mail：h6.suzuki@soumu.go.jp

シエスパ爆発火災の概要

1 発生日時等

発生時刻：平成19年6月19日（時分調査中）

覚知時刻：平成19年6月19日 14時29分

2 発生場所

住 所：東京都渋谷区松濤一丁目29番7号

建物名称：株式会社ユニマットビューティ&スパ シエスパB棟

用 途：15項（その他の事業所）

3 建物概要

構造 耐火造 階数 地上1階／地下1階

建築面積 89.22㎡ 延面積 153.71㎡

4 死傷者等

死 者 3人（51歳女性、22歳女性、23歳女性）

負傷者 8人（28歳男性重症、35歳女性重症、32歳女性重症、
搬送辞退5人（42歳女性、45歳女性、年齢性別確認中3人））

5 施設の状況

B1 温泉汲み上げポンプ装置、ガスセパレータ、源泉槽、受水槽

1F 従業員控室、トイレ

6 東京消防庁の活動

ハイパーレスキューを含む消防隊など47隊が出動

7 消防庁の対応

消防法第35条の3の2の規定に基づき消防庁長官の火災原因調査を発動し、消防庁職員4人を現地に派遣して20日午前から調査を実施しているところ。

予防課

担当：三浦、村井

TEL：03-5253-7523

FAX：03-5253-7533

陽春模式：溫室效應與經濟發展

[illegible]

調査様式2 天然の可燃性ガスによる火災事例

都道府県名: _____

消防本部名	記載欄
〇〇消防本部	記載例 事例1 火災番号〇〇〇〇〇〇 出火市区町村コード〇〇〇〇〇〇〇 出火時刻:平成〇年〇月〇日〇時〇分 被害場所〇〇県〇〇市〇〇区〇〇町〇丁目〇番〇号 火災概要:〇〇〇... 消防活動:〇〇〇...